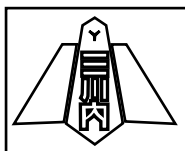


学校だより

あったか三川内



令和4年 2月10日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【給食集会表彰】

全国学校給食週間（1／24～1／30）に合わせて、各学級・学年で取り組んだ給食標語や作文の発表を先日行い、その様子をお伝えしていました。そして昨日は、代表になった14名の子どもたちを対象に、校長室で表彰式を行いました。一人ひとり名前を呼びあげ賞状を渡すと、「ありがとうございました」と、お礼を言う人、少し緊張しながら賞状を受け取る人、受け取った後、笑顔で応える人など様々でした。お互いに受賞の喜びを込めて拍手を贈りました。私からは「これからも、おいしい給食を残さず食べ、丈夫な体を作ってください。」と、言葉を贈り、それぞれ記念撮影をしました。今回、代表にならなかったものの、どの学級・学年でもすばらしい標語や作文、調理員さんへの感謝のお手紙など、「あったかな心」のこもった作品がたくさんありました。三川内っ子の良い子の皆さん！これからも、栄養満点の給食をしっかり食べ、心と体の健康づくりをしてください。そして、感謝気持ちを忘れず、好き嫌いせずに、残さず食べる努力をしていきましょう！！



【ドクターヘリ】

2月8日（火）15：20頃、消防署から電話があり「そちらの運動場に、ドクターヘリを着陸させてもいいですか？」との問い合わせがありました。幸いにも、運動場で授業はあっていなかったもので、「いいですよ。何時ごろになりますか？」と返事をしました。「15時37分頃になると思います。」とのこと。早速、授業中でしたが、「ドクターヘリが来るので、運動場には出ないでください。」と放送しました。すると、消防車が来て、運動場に水を撒いて、ドクターヘリの着陸準備をしました。間もなく、ヘリコプターの音がして、多くの砂煙を巻き上げながら運動場に着陸しました。「ドクターヘリ、初めて見た。」「これで2回目だ。」「大きな事故があったのかな。」「怪我した人大丈夫かな。」「どこから来たのだろう。」など、様々な感想を言いながら各教室の窓から見つめていました。しかし、なかなか救急車が来ずに、ヘリは40分ほど待ちました。その間、ちょうど子どもたちの下校時刻が重なったので、担任の先生方や消防隊員の方々の誘導に従いながら下校しました。その後、救急車が到着し、怪我をされた人がドクターヘリに移され、そのまま病院へ向かわれました。救急に関わる人たちの真剣さと緊張感が伝わって来るようでした。ヘリが飛び立つ時は、ものすごい砂煙と轟音があたり一面を覆いました。子どもたちは、目の当たりにした「救急」の様子から何を感じたことでしょうか。後から聞いた話では、三川内インター付近で交通事故があったということでした。事故に遭われた人の安否が気ばかりで、無事を祈るばかりです。

